

第九回 がん川柳集

がん川柳五・七・五

がん患者の思いを川柳にのせて

独立行政法人 国立病院機構

 大分医療センター

もくじ

刊行にあたって

院長 あいさつ 1

副院長 あいさつ 2

緩和ケアチームリーダー あいさつ 2

優秀作品 3

がん川柳作品 9

がん患者の思いを川柳にのせて

がん川柳の啓発活動 24

これまでのがん川柳啓発活動 25

応募規約 28

あなたの一句を 29

おわりに 30

各作品は、原文のまま掲載させて
頂いております。

刊行にあたって



院長
吉 伸 奈

本年も、全国から百を超えるたくさんの方の句を当院のがん川柳にお寄せいただき、誠にありがとうございました。当院の活動がだいぶ知られるようになった様ですね。

じっくり読ませていただきましたが、一句一句が心に沁みました。優秀賞に選ばれた句以外にも素晴らしいものが多くて賞の選定にはとても迷いました。年々内容がよくなっていると感じています。さて、新型コロナウイルス感染症は五類に下がり、世間の様子はかなり変化してきました。し

かし医療機関の事情は多少異なります。当院もウイルス感染症の非流行期には、入院患者の面会制限を解除していますが、近頃の様子にインフルエンザの大流行（大分県は全国一だそうです）があると、入院患者の安全を守るためにはある程度の面会制限はせざるを得ません。また、新型コロナウイルスの感染力もまだまだ強そうです。ウイルス感染症の流行期には、がんなどで入院闘病中の方はご家族に自由に会う機会が減ってしまい、寂しい思いをさせて申し訳なく思っています。ウイルス感染症はとてもしつこくて手強いですが、まずは新型コロナウイルスパンデミックが本当の意味で終息してほしいですね。

がん治療は年々進歩し複雑になっていますが、どの治療を受けられるにしても、できるだけ安らかな気持ちでいて、望まれるような結果になつてほしいと私達は願っています。

がん川柳は、がんと闘っている患者さんご家族の気持ちを、気兼ねせずに発出できる場です。そして、がんを患っている方の気持ちを色々な人に理解してもらうことに少しでも役立てれば嬉しいのです。来年は、第十回と区切りの良い年になりますので、ぜひさらに多くの川柳をどうぞお寄せください。



副院長

桜島 章

今年も、がん川柳に多数のご投稿をいただき大変ありがとうございました。力作が多く、優秀作品を選定するのに大変苦慮いたしました。作品を読んでいて感じたことは、日常生活の小さい出来事も、がん治療をされている患者さんとそのご家族にとっては、重要な瞬間だということでした。句集をご一読いただくことで、患者さんとそのご家族のお気持ちに共感いただければ幸いです。



緩和ケアチームリーダー

住野 泰弘

今回も皆様のご協力により「がん川柳集」を発行することが出来ましたことを感謝申し上げます。この取り組みを継続して患者さんやご家族の思いを汲み取る努力を続けながら、まだ表せられない思いがないか引き続き検討し、和らげていくことが出来るように取り組んでいこうと考えております。今後も皆様のさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

優秀作品

優秀作品賞

残された

妻の余命と

歩みたい

埼玉県

●作者からのメッセージ

半年から1年と余命宣告を受けても、涙をこらえて抗癌剤治療を頑張っている妻にかける言葉が見つからず、ただ近くで見守っているだけの私です。

孫7人いますが、妻は孫達に対して、いつも明るい笑顔で接しています。そんな妻と残りの人生を精一杯生きている私です。

優秀作品賞

泣き笑い

みんなと過ごす

今が好き

茨城県

たーちゃん

●作者からのメッセージ

がんと知り、どうしようもない気持ちから日常にもどるのには時間がかかりました。

家族や医療チームの皆さんに心の中の思いを聞いてもらい支えられています。
大切な人たちと笑って過ごせる今がとても好きです。

優秀作品賞

がんばって

がんばらないで

共に生き

東京都
なつ

●作者からのメッセージ

父が癌の治療をしていた時に、がんばりつつもがんばりすぎないで、普通に暮らすことが大切なんだと感じました。癌と共に生きていく、そして生きていく父の横には、いつも家族が共にいるよという思いを込めました。

優秀作品賞

人生を

見直すチャンス

くれたがん

大阪府 豆助

●作者からのメッセージ

がんになると死を意識するようになり今までの人生を振り返る。自分の人生はこれでいいのか考え、生き直すチャンスをくれたのだと前向きになれる。たくましく生きるを目標にするきっかけ、それががんだった。

優秀作品賞

ありがとう

伝える時間

くれたがん

栃木県 山宗雲水

●作者からのメッセージ

知人ががんになりました。

「はじめは当然つらかったよ。でも、がんになったことで、気づくこともいっぱいあってさ。ありがとうってちゃんと伝えようと思う、きっかけになったよ」と言っていたことを思い出し、句にしました。

がん川柳作品

まだ死ぬ

癌とお前が

死んでくれ

岐阜県 染川染幸

生還し

生きる喜び

噛みしめる

岐阜県 染川染幸

最新の

医療に気力

二刀流

静岡県 春爺

根性を

ちよつぱり混ぜて

薬のむ

静岡県 春爺

がん検診

転ばぬ先の

イシ(医師・意思)大事

静岡県 このは

治療薬

何より母の

笑^えみが効く

静岡県 このは

がん予防

家族総出で

待ったなし

奈良県 ウラツキー

がん治療

家族そろえば

倍増す

奈良県 ウラツキー

今日あるは

ドクター、ナース

感謝です

奈良県

決断が

早かったあと

P、P、K

奈良県

理由^{わけ}を聞き

納得してから

笑顔増え

埼玉県
未央柳

経験^{けんげん}を

語った友が

親友に

埼玉県
未央柳

注意しつつ

がんの意識に

距離を置く

東京都
きょう香

先生の

「寝てると弱る」を

教訓に

東京都
きょう香

ホスピスに

昼まで灯ってた

命

奈良県
よもやま話

趣味ひとつ

がん・愚痴・老いを

蹴散らかす

奈良県
よもやま話

ガン細胞

ところ嫌わず
しやしやり出る

前立腺

全摘スツキリ
漏れ辛い

検診で

心がけよう
早期発見

埼玉県
ピノコ

侵ニュー禁死

がんがん

息止まり

青森県
68歳リタイア男

オリンピック

悲願^グと聞く度
胸躍る

宮崎県
やののつば

生きるんだ

前進あるのみ
ガン退治

宮崎県
やののつば

伝えたい

思いを癌が
後を押す

大阪府

癌に成り

癌を身近に
観るはめに

大阪府

乳癌

早期発見

触れ合えば

東京都

悠々愛々

全摘し

好きな温泉

尻込みし

東京都

悠々愛々

遺伝子を

切った張ったの

がん治療

徳島県

放射線

癌を叩ける

よい仕事

徳島県

ステージを

上げて振る舞う

癌病棟

大阪府

生きてれば

いつでも癌に

成れる身を

大阪府

頑として

禁煙拒む

癌の友

徳島県

言うよりも

聞く方がましな

癌告示

徳島県

願掛けて

癌への想い

拭い去る

徳島県

やっぱりと

思う告知の

納得感

徳島県

ガンですと

告知された日

雨が降る

埼玉県
佐藤あまみ

手術後に

食べた重湯が

胸染みる

埼玉県
佐藤あまみ

ガン告知

あるがまま今

生きる父

大阪府

ガン告知

認知とガンが

共存

大阪府

メラノーマ

十年経ちて

安堵する

神奈川県
あざみのかかし

胃がんでも

部位異なれば

大違い

神奈川県
あざみのかかし

ガンになり

余命減る分

密度濃く

東京都 風月

人並みに

なつたと告知

受け入れる

東京都 風月

放射線

終わり日流る

卒業歌

神奈川県 ミーど

ガン治療

終えて3年

仮釈放

愛知県 ナッツとピュア

少しでも

妻の痛みを

奪いたい

埼玉県

医師ナース

寄つてたかつて

不安消す

福岡県 一歩二歩

知識得て

癌に臨めば

減る不安

福岡県 一歩二歩

癌罹患

最後は自宅

希望せし

千葉県

お別れの

時間をくれた

癌罹患

千葉県

がんだって

活す術あり

出る笑顔

北海道

悩むより

むしろ気が楽

がん公表

大阪府
オネストジョン

がん治療

感謝を込めて

寄付金へ

大阪府
オネストジョン

ガンくれた

父との時間

宝物

東京都
なっ

癌からの

生還いまは

増えている

東京都

がんだって

共存できる

道はある

東京都

古希がんに

勝って余命は

五十年

広島県

モデルガン

好きでもがんは
手術する

広島県

心まで

がんにやられて
なるものか

兵庫県

ひとりじゃない

家族で支え
合う治療

兵庫県

聞き入った

闘病中の
推しの歌

大分県
婚活難民

緩和ケア

心の嵐も
そよ風に

茨城県
たーちゃん

悔しいが

家族団結
させたがん

東京都
河野

子や孫に

負けて受診を
癌に勝つ

大分県

がん治療

個人戦より
団体戦

宮崎県
アカエタカ

ステージは

いらない俺の

キャラドやない

宮崎県 アカエタカ

術後診

転移再発

暗い影

神奈川県 そんなく

なぜ自分

悟りに遠く

日々苦悩

神奈川県 そんなく

奇跡より

活す力と

手助けを

大阪府 井上

信じよう

生きる力と

この医療

大阪府 井上

副作用

抗ガン剤に

悩まされ

滋賀県 ひるねする夫

負けないぞ

完活めざして

意志強く

滋賀県 ひるねする夫

なんで俺

酒もタバコも

やらぬのに

香川県 うどん人

がんに告ぐ

俺たち君に

負けないぞ

愛知県 三河の空

がん組織

陣地取りには

負けないぞ

愛知県 三河の空

やっつける

ために先手の

検査する

福岡県 わこわこ

退院の

挨拶はずむ

癌病棟

岡山県 しおさい

癌という

文字書きづらし

意地悪し

岡山県 しおさい

生きる身は

癌も生きてる

これも縁

岡山県 げんきくん

明日という

希望の言葉

癌がくれ

岡山県 げんきくん

宿住が

気落ちをすれば

癌強し

東京都

頬ゆるむ

男乳癌

隠しとこ

東京都

連れ合いの

病い安じて

夫来る

大分県

がんに勝ち

がんばる力

取得する

愛知県

けいちゃん

リスク知り

がんに向き合う

たくましく

大阪府
北斗

がん細胞

やつつけ人生

旅鳥

大阪府
北斗

一日ごとに

込める家族の

充実感

岐阜県
くうる

この介護

親孝行と

恩送り

岐阜県
くうる

立つ鳥を

真似て濁さぬ

後始末

岐阜県
もんも

目覚め知る

朝日に後光

さす山を

岐阜県 もんも

告げられて

デズニールンドで

憂さ晴らし

東京都

副作用

脱毛しても

世を照し

東京都

生きること

止めずあきらめぬ

きっかけに

岐阜県 海神 瑠珂

ガン^癌だから

ガン^頑ばることに

ガン^頑こです

岐阜県 海神 瑠珂

がんと知り

この世の全て

愛おしく

栃木県 山宗雲水

闘病を

倒病にした

がん治療

徳島県 のりのり

還暦に

癌を切除で

米寿舞う

大分県

顔浮かぶ

義父母に感謝と
逝った嫁

大分県

がんよがん

心入れ替え
世に尽せ

東京都 まこっちゃん

がん友の

仲間意識に
いやされる

東京都 まこっちゃん

再発なし

今ではガンを
自慢する

宮城県

あきらめた

子宝いまや
二児の父

大分県 まさくん

医師からの

言葉に未来の
”光”見る

大分県 みいちゃん

不安消え

芽生えた勇気で
挑む治療

大分県 みいちゃん



～がん患者の思いを川柳にのせて～

がん川柳の啓発活動



がん川柳表彰式



これまでのがん川柳啓発活動

がんチャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ大分



大分医療センター以外の
がんサロンで交流



外来フロア掲示



世界160ヶ国 テレビ放送



一般書店にて



テレビ全国放送



講演



新聞掲載



応募規約

【応募条件】

- ・作品の応募はおひとり様二点までとさせていただきます。
- ・二点を超えた応募の場合は選考対象となる二点を当主催者にて選定させていただきます。
- ・応募作品は応募者または第三者の個人情報が含まれていないものに限ります。

【作品取扱い】

- ・ご応募いただいた作品の著作権は著作者に帰属しますが、当主催者にはその使用权が許諾されます。
- ・当主催者は応募作品の作品集、もしくは書籍化、宣伝広告、ホームページなどにおいて無償で使用することができるとします。
- ・当コンテストに応募された作品の転載はご遠慮願います。

【作品制限】

- ・応募作品が以下の内容に該当すると当主催者が判断した場合、当主催者は事前の通知等なく展示をせず削減することができます。
- ・公序良俗に反している、またはそのおそれがあるもの。
- ・第三者の著作権その他の権利を侵害または、侵害するおそれのあるもの。
- ・第三者を誹謗中傷しているもの、またはそうとらえることができるもの。
- ・第三者のプライバシーの侵害、または侵害のおそれがあるもの。
- ・法令等の違反、またはそのおそれがあるもの。
- ・当コンテストの適正な運用の妨げ、またはそのおそれがあるもの。

あなたの一句を



日付 (/ /)

おわりに

最後まで読んでいただきありがとうございました。

このがん川柳集冊子の発行は、がんになつわるエピソードや日頃の思いを、五・七・五の形式の川柳にのせて感情表出することで心のケアへ繋げたり、がん川柳にのせた思いを地域・社会へ発信することを目的として、二〇一五年三月に第一回目のがん川柳集を発刊しました。今回で九回目となり、これまで院内配布・掲示は勿論のこと、がんチャリティーイベントやがんサロン、大分県内各地のがん相談支援センターでの配布など、様々なところで発信を続けることができています。

がん川柳を通して、多くのがん患者さんやがん患者さんを支えているご家族、知人、支

援者の方々の『がん』への思いを共有でき、皆さんの心の支えになってくれることを願っています。

最後に、本冊子を作成するにあたり、ご支援してくださったがん川柳を応募してくれた方々やがん川柳に触れ共感してくれた方々、そして病院のスタッフ等に厚くお礼申し上げます。

がん相談支援センター

ソーシャルワーカー 村上英恵
緩和ケア認定看護師 和田聡美

第九回

がん川柳集

がん川柳五・七・五

（がん患者の思いを川柳にのせて）

発行日 二〇二五年三月三十一日

発行・編集 独立行政法人国立病院機構

大分医療センター

大分市横田二丁目十一番四十五号
電話 〇九七ー五九三一ー一一

